

LAKE
BIWA
TRIATHLON
2024

JAPAN
TRIATHLON

AGE GROUP
NATIONAL CHAMPIONSHIP SERIES

LAKE BIWA TRIATHLON 2024

Sustainability Report
大会レポート

最高の挑戦、全員が主役。



公式サイト



facebook



YouTube

10.20 2024
SUNDAY

PIECLEX
A Murata Company



Bianchi



YONEX

cervélo

CEECO

MARRIOTT
LAKE BIWA

たね地
CLUB MARIE

COMARS

Creww

びわこ成蹊スポーツ大学

滋賀銀行

SAGAWA Sg advance

Coca-Cola

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.

Marubeni
Forest LinX

LAKE BIWA TRIATHLON 2024

「LAKE BIWA TRIATHLON」は滋賀県・琵琶湖を舞台とするミドルディスタンスのトライアスロン大会です。本大会は、琵琶湖で世界中のアスリートが参加するトライアスロンレースを開催したいとの思いから2021年にスタートし、2024年大会で第4回を迎えました。日本最大の湖・琵琶湖を舞台にした大会のコンセプトは「最高の挑戦、全員が主役」。参加するプレイヤー、地域の皆様、ボランティア、大会スタッフ、スポンサー、応援していただく方、全ての方が主役です。大会を開催することで「サステナブル」に貢献することを目指し、スポーツを通じて多様な主体が共創することで、新しい地域活性化のあり方を創造します。国内外から個人・リレー合わせ841名のプレイヤーの皆さんが集い、トライアスロンの皆さんの最高の挑戦と、地元の皆様の応援で、最高の舞台を琵琶湖で創ります。



RACE DATA / レースデータ

COURSE

[Canceled]

SWIM 1.9K

前日深夜から当日早朝にかけての悪天候によりスイムは中止となり、デュアスロン（ラン→バイク→ラン）での開催となりました。

1st RUN 3K

BIKE 80K

2nd RUN 20K

コースマップは p4 へ
▶▶

TRIATHLETES

エイジ
(個人の部)
エントリー数 **736** 名

出走 **637** 名
完走 **605** 名

リレー
エントリー数 **36** チーム

出走 **34** チーム
完走 **33** チーム

*1チーム2名で1人2種目を担当するチームあり

VOLUNTEERS

大会
ボランティア **162** 名

地元自治会 びわこ成蹊スポーツ大学 滋賀銀行 地元企業・一般受付
ボランティア 学生ボランティア ボランティア ボランティア

24 名 **25** 名 **24** 名 **89** 名

TECHNICAL OFFICIALS

マーシャル (審判)
日本トライアスロン連合(JTU)公認審判員 **68** 名

RACE RESULT

総合成績 (リザルト) はこちら ▶▶



LAKE BIWA TRIATHLON 2024

2024JTUトライアスロンエイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ

RACE COURSE MAP



SWIM 1.9km
950m × 2Lap

1st RUN 3km
3km × 1Lap

2nd RUN 20km
4.0km × 5Lap

BIKE 80km

Lake Side Loop 湖岸道路 19.4km × 1Lap

RACE COURSE GUIDE

LAKE BIWA TRIATHLONのコースを写真とアニメーションでご紹介する。ここでよりわかりやすいコースガイドです。琵琶湖の風を感じる魅力あるコースをご紹介します！コースの地点番号を照らし合わせながらご覧ください。



START / FINISH エリア詳細図

*詳細はMAIN VENUE MAPをご覧ください



S START
T TRANSITION
AS AID STATION
F FINISH

JAPAN TRIATHLON
AGE GROUP NATIONAL CHAMPIONSHIP SERIES

2024.10.20 7:00 START

[Canceled]
SWIM 1.9K
1st RUN 3K
BIKE 80K
2nd RUN 20K



キッズチャレンジアクアスロン

KIDS CHALLENGE AQUATHLON

ダイジェスト
映像はこちら



親子のスポーツ体験を促しスポーツ人口拡大に貢献

本大会のイベントとして、2024年8月に本大会のメイン会場でもある守山市の第2なぎさ公園にて、地域の小学生を対象とした「LAKE BIWA TRIATHLON キッズチャレンジアクアスロン」を開催しました。また、本大会参加を目指す大人のスキルアップをはかる「スイム&ランニング講習会」を同時開催しました。今年で2回目となった本イベントでは、地元・守山市や野洲市の小学生を中心に約60名の方に参加いただきました。日頃の水泳の成果を試しに来た小学生、親子で本イベントに参加する家族、子供が挑戦する姿を見て歓喜する方など、参加者それぞれにとってスポーツに親しむ機会となり、大会を通じたスポーツ人口の拡大を目指しています。

主催 | LAKE BIWA TRIATHLON実行委員会 共催 | 守山市 / 野洲市 後援/協力 | (一社)滋賀県トライアスロン協会
 協賛 | 株式会社平和堂 / 株式会社ピエクレックス / オン・ジャパン株式会社 / ウインクレル株式会社 / サイクルヨーロッパジャパン株式会社 / ヨネックス株式会社
 株式会社COMARS / 株式会社かねふく / ホテルポストプラザ草津びわ湖
 協力 | 西武造園株式会社 / 琵琶湖マリオットホテル / シダックス大新東サービス株式会社 / 株式会社いずみコー

LAKE BIWA TRIATHLON QUESTIVAL チャレンジピッチ・クエスティバル

詳細はこちら



スタートアップの提案で課題解決を目指す 「チャレンジピッチ」を実施

守山市との官民連携による取り組みの1つとして、LAKE BIWA TRIATHLONを舞台に、世界に誇る大会の実現、琵琶湖周辺での官民連携による受入環境整備に向け、社会を変革する新しい技術・サービスを持つスタートアップからの企画を募るピッチコンテスト「LAKE BIWA TRIATHLONチャレンジピッチ」を実施しました。国内外12社のスタートアップからの提案の中から、最優秀賞としてforent株式会社による「クエスティバル」の企画が選ばれ、実証実験として実施しました。

主催 | 守山市 共催 | LAKE BIWA TRIATHLON実行委員会
 運営 | 株式会社COMARS / Creww株式会社 協賛 | 三井住友海上火災保険株式会社

守山をフィールドにしたクエストに挑戦「クエスティバル」

クエスティバルは「クエスト(冒険)」と「フェスティバル」を掛けあわせた、誰でも参加できる冒険イベントです。様々なクエスト(ミッション)をクリアしながらポイントを貯め、地域活性化に繋がる活動や大会を応援していただき、街を探索していく新しい体験です。本大会と並行して開催し、参加者一人一人が地域のクエストに挑戦し、ポイントを獲得しながら地域の魅力を発見するイベントとなりました。

運営 | forent株式会社 協力 | 守山市 共催 | LAKE BIWA TRIATHLON実行委員会 / 株式会社COMARS



守山湖岸振興会 × LAKE BIWA TRIATHLON 湖岸周遊シャトルバス

詳細はこちら



本大会の開催に合わせ、大会前日の1日限定で、無料の湖岸周遊シャトルバスを運行しました。大会前日は、琵琶湖マリオットホテルにて選手受付やエキスポ出展が行われ、多くの参加者が集うため、参加者の皆さんや応援に駆けつける方、観光に来られる方に、守山琵琶湖岸の魅力を感じていただく企画です。当日は大会に参加する選手やその家族、また観光に訪れた方など、多くの方に利用いただきました。



提供 | 守山湖岸振興会 (株式会社アヤハゴルフリンクス / 公益財団法人SGH文化スポーツ振興財団 / コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 / ザ・コロナパークス株式会社 / シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 / 寺田商事株式会社 / ピエリ守山 / 琵琶湖汽船株式会社 / ホテル琵琶湖プラザ / 琵琶湖マリオットホテル / 守山漁業協同組合 / 守山市 / 株式会社レクマリーナ / ヤンマーコーポレーション株式会社 / 一般社団法人滋賀県自動車整備振興会 / 一般社団法人滋賀県トラック協会)
 協力 | LAKE BIWA TRIATHLON実行委員会 / かねふくめんたいパークびわ湖 / 佐川アドバンス株式会社

サステナブルへの取り組み

COMMITMENT TO SUSTAINABILITY



電気で抗菌・土に還る次世代繊維を活用したフィニッシャータオル・スタッフウェアの提供

人の動きを電気エネルギーに変える新素材「ピエクレックス」は、繊維が動くことで発生する電気エネルギーによって抗菌効果を発揮。長期使用しても抗菌効果が続き、臭いの原因となる菌にも効果がある素材です。植物由来の素材で環境にも優しく、素材は土にかえるサステナブルな新素材です。大会開催地である野洲市に事業所のある株式会社ピエクレックスの協力により、ピエクレックス素材を使用したフィニッシャータオルを、本大会で完走された方にプレゼントしました。また、大会運営に関わるスタッフ・ボランティアのウェアも本素材を使用しています。普段使いができるようにシンプルなデザインにし、長く着用し、不要になったら回収して分解できる仕組みです。



※抗菌効果とは、菌の増殖を抑える効果のことです
※使用状況により効果は変わります

実施主体



株式会社ピエクレックス

選手向けの事前発送物に地元企業で回収されたダンボールより再生されたダンボールを使用

平和堂

店舗から排出した
使用済みダンボール



丸紅フォレストリンクス
にてダンボールを再生



皆様
お届け



選手に事前発送した、競技ガイドなどの書類や地域参加賞等の梱包に使用するダンボールについて、地元企業から排出されたダンボール古紙から作られた再生ダンボールを活用しました。丸紅フォレストリンクス株式会社が提供する循環型リサイクルシステムにより、地元の大会公式スポンサーである株式会社平和堂の店舗から排出された使用済みダンボールを回収し、再生されたダンボールを使用し、選手のご自宅へ商品を配送する仕組みとなっています。地元地域で消費された資源が活用されていることを「見える化」することにより資源循環への意識向上を狙っています。

実施主体・協力会社



丸紅フォレストリンクス
株式会社



株式会社平和堂

有限会社杉本紙業
福山製紙株式会社
大津板紙株式会社
株式会社トーモク

食品ロスの低減・地元特産品の提供



実施主体



たねや・CLUB HARIE

ほか地元事業者

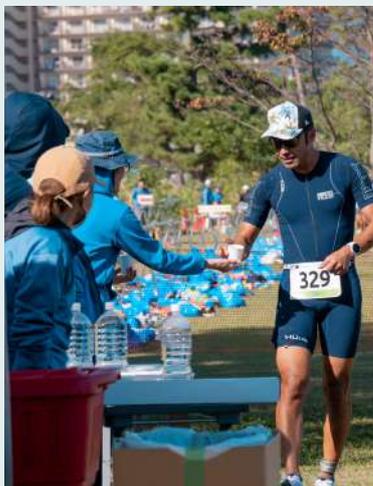
和洋菓子のたねや・CLUB HARIEグループからは、ゴールした参加者に「バームクーヘンのポストック」と、人気の「どらやき」を提供いただきました。特にポストックは、バームクーヘンを作る工程において商品にできなかった部分を利用し、新たな美味しいお菓子として生まれ変わった、食品ロスを解決する商品です。たねや・CLUB HARIEでは、食品ロス低減の取り組みをはじめ、滋賀・琵琶湖の自然を守り、持続可能にしていく取り組みを展開しています。また、本大会では「おもてなしプレゼント」として、選手・ボランティア・審判TOを対象とした抽選会を開催しています。抽選会ではパートナー企業の協力により様々な商品を提供いただいているほか、地元の特産品として、守山漁業協同組合から湖魚の佃煮や、地元農家から新米を提供いただいています。トライアスロンを通じて滋賀・琵琶湖の魅力を発信し、ファンを増やす取り組みです。

「LAKE BIWA TRIATHLON」では、大会コンセプトの1つに「サステナブル」を掲げ、参加者はもちろん、地元地域、事業者、自治体など多様な主体が「全員が主役」として共創し、トライアスロンというスポーツ、そして大会の開催を通じた持続可能社会への貢献を目指しています。本大会の開催地である守山市との連携を図る中、本大会を通じて、2025年大阪・関西万博を見据え、官民連携による持続可能な地方創生の実現を目指したモデル事業に取り組みました。

特設ページは
こちら



大会で消費する紙コップを古紙回収し製紙原料としてリサイクル



本大会では昨年に続き、レース中にエイドステーションにて水分提供に用いた大量の紙コップをリサイクルする取り組みも実施しました。使用済み紙コップは防水加工や汚れなどがあるため、可燃ごみとされることが通例でしたが、大会で使用した紙コップを古紙として回収し、製紙原料としてリサイクルを行う取り組みを丸紅フォレストリンクス株式会社の循環型リサイクルシステムにより実施しました。参加者のリサイクルへの行動意識変容を促進します。

レース会場の紙コップを含むごみ回収および分別については、びわこ成蹊スポーツ大学の学生が担い、本事業でリサイクルされた製紙原料は、ダンボールへと生まれ変わりました。

実施主体・
協力会社

**Marubeni
Forest Link**

丸紅フォレストリンクス
株式会社

びわこ成蹊スポーツ大学

びわこ成蹊スポーツ大学

福山製紙株式会社
信和商事株式会社

カーボンオフセット開催で地域スポーツ振興と脱炭素の両立へ



大会当日に行われた贈呈式

滋賀銀行からは、本大会が「サステナブル」に貢献することを目指すとの趣旨にご賛同いただき、カーボンオフセット開催に協力いただきました。寄付スキーム「未来よし+（プラス）」を通じて、「びわ湖カーボンクレジット」5t-CO₂を提供いただきました。これにより、参加者が会場まで移動されることによって排出されるCO₂が相殺され、「脱炭素」での開催に一歩前進しました。

また、滋賀銀行からは大会開催にあたってのボランティアとして24名の方にもご協力いただきました。

実施主体

滋賀銀行

株式会社滋賀銀行

■カーボンオフセット

日常生活や経済活動において排出されるCO₂などの温室効果ガスについて、削減しきれない排出量を、カーボンクレジット等を活用して相殺すること。

■未来よし+（プラス）

脱炭素やSDGsに貢献する金融商品の取扱実績に応じて滋賀銀行が資金を拠出し、地域の脱炭素や生物多様性保全などを支援する寄付スキーム

■びわ湖カーボンクレジット

国の「J-クレジット制度」を活用して、省エネや再エネの取り組みによるCO₂などの温室効果ガスの削減量および森林の適切な管理により生み出された吸収量にかかる滋賀県産のクレジット。森林組合等から購入することで、県内の森林保全に貢献できる。本件のびわ湖カーボンクレジットは、一般社団法人滋賀県造林公社より購入したもの。

スポーツを「ささえる」活動を通して 新たなスポーツ文化を創造

守山市と連携協定を締結している、びわこ成蹊スポーツ大学では、第1回大会から4年連続で大会の運営サポートを行っています。今年度は、学生6名で学生実行委員会を結成し、当日は25名の学生がボランティアとして活動いただきました。実行委員が中心となって大会事務局のミーティングに参加して企画案を提案するなど、当日の大会運営だけでなく共に大会を創るという面でも力を注いでいます。大会前には、平和堂の店舗に設置いただいた「市民からの応援寄せ書きボード」を選手に届けたほか、英語で海外選手受付のサポートなどを行い、当日には交通規制案内や給水補助、救護活動、サステナブルな大会となるためのゴミ分別協力の呼びかけ、そしてメッセージボードを掲げた笑顔の応援など、様々な形で選手が安全に、かつレースに集中できる環境が整うようサポートしています。



実施主体・
協力会社

びわこ成蹊スポーツ大学

びわこ成蹊スポーツ大学

HEIWADO

株式会社平和堂

最高の挑戦、全員が主役



- 主催 LAKE BIWA TRIATHLON 実行委員会（主たる運営者 CEEPO INTERNATIONAL Co.,Ltd. / 実行委員長：田中信行）
- 共催 守山市 / 野洲市
- 後援 公益社団法人日本トライアスロン連合 / 滋賀県
国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 / 近江八幡市 / 守山商工会議所 / 守山湖岸振興会 / 守山市観光物産協会 / 野洲市商工会 / 野洲市観光物産協会
公益社団法人びわこビジターズビューロー / 公益財団法人滋賀県交通安全協会 / 守山野洲交通安全協会 / 公益財団法人守山文化体育振興事業団 / 守山市スポーツ協会
滋賀県自転車軽自動車商業協同組合守山野洲支部 / 一般社団法人滋賀県自転車競技連盟 / 近江守山ライオンズクラブ / 守山ロータリークラブ / 淡海を守る釣り人の会
- トップパートナー
株式会社ビエクレックス / 株式会社平和堂
- オフィシャルパートナー
サイクルヨーロッパジャパン株式会社 / オン・ジャパン株式会社 / マヴィックジャパン株式会社 / ヨネックス株式会社 / 株式会社東商会
- パートナー・サプライヤー
琵琶湖マリオットホテル / たねや・CLUB HARIE / 株式会社COMARS / Creww株式会社 / 佐川急便株式会社 / 株式会社滋賀銀行
丸紅フォレストリンクス株式会社 / 日本コカ・コーラ株式会社 / コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社
ブライトリング・ジャパン株式会社 / 旭化成ホームズ株式会社 / 株式会社カワシマサブライ / 味の素株式会社 / メディ・ジャパン株式会社 / 株式会社ANTY'S
サンボルト株式会社 / 株式会社ジェイテクト / 株式会社ハーベスト / 株式会社アリスト / 株式会社JYU-KEN / 江崎グリコ株式会社 / 有限会社フルマークス
ユナイテッドスポーツプランズジャパン株式会社 / 優采伽 / 株式会社沖縄開発テレビ / Lapulem / 一般社団法人ゼロバランス協会 / 株式会社 ACTION SPORTS ほか
- 協力 野洲川下流土地改良区 / 西武造園グループ / シダックス大新東サービス株式会社 / TAC・ナショナルメンテナンス共同事業 / エンネット ほか
- メカニック協力 GIANT JAPAN / キヨシ商会
- 競技主管 一般社団法人滋賀県トライアスロン協会